

7.28 大船渡ボランティア報告

1. 今日の流れ

6:00 起床

7:00 朝食

8:10 大船渡にむけて出発

① グループ（学童保育のキッズクラブいかわで活動）

10:00 勉強の手伝い

11:00～12:00 ビデオ鑑賞

12:00～12:30 昼食

12:30～13:30 何もしないでゴロゴロする

13:30～14:00 動物シール探しゲーム

15:00～15:20 おやつタイム

15:20～16:00 自由時間

② グループ（被災地視察、総合運動公園でベンチ作り）

10:00～12:00 陸前高田、大船渡視察

12:00～13:00 昼食、休憩

13:00～15:30 ベンチ作り

全グループ

16:00～17:30 帰宅、買い出し

19:00～19:40 夕食

20:10～21:30 全体ミーティング

21:40～22:30 スタッフミーティング

2. 今日の活動

ベンチ作り班

まずは作り方を引き継ぐための作業をした。

3つのグループに分かれて3台のベンチを作成。

近所の人が数名来てくれた。

→みどりおじさん（アイスを差し入れてくれた。

→ヤンキーお兄さん（お好み焼きを売っていた人の弟さん、ブログ用に私たちの写真

をとるとのこと）

● ベンチを作った感想

→実際使われているところを見たい。

→住人のかたがきて、声をかけてくれるのがうれしい。

● なぜベンチを作るのか？

コミュニティーを形成するため

→じゃあなぜコミュニティーが必要なのか？

- ・老人の孤独死を防ぐため
- ・近所の人と顔見知りになることによって不審者を入れさせない、見つける。

＝現実的な問題

- ・一緒にすごし話すことで安心感を得る。
- ・話し合うことで住人の意見が反映される。
- ・二重のストレスからの解放（地震＋知らない人との生活）

＝精神的な問題

- 私たちボランティアの役割

ボランティアはいつかいなくなる

＝被災者同士のつながりを生み出す。

（仲介役、自立のための支援）

学童保育班

1～2年生 17人

3～4年生 11人

- 動物シール探しゲームとは？

森の絵に色ぬり→動物のシールをかくす→見つける→森にはる

→レアキャラ探し、競争心が芽生える

→絵に想像力があつた

- 学童保育に私たちが行く意味？

→子どもたちの社会性、コミュニケーション能力の育成の手伝い

→子どもたちの中のつながりを生み出すため。

- ごっこ遊びについて

地震や津波のごっこあそびや絵

→助長するのはだめ、でも止めさせる必要はない

→どこまで指導という方向性をもっていった方がいいのかがポイント。

→向こう側の指導員と相談して決めていく。

- 自分たちがいなくなったら何もできなくなってしまうようなやり方ではいけない。
- 企画していることを文書化するとわかりやすくなる。

視察

陸前高田と大船渡を視察。

視察中に散策を3回行った。

- 視察前に実際の状況を知りたいと思っていて、今日の視察で感じたことは？

→色々な私物を見て当時の状況を想像して、失ったものすべてを考えていくとものすごく大変なことなんだとおもった。

→長期的な視野ばかりでなく、今の短期的な生活にももう少し見ていかなければならないのではないかと思った。

→同じ津波の被害でも場所によって全く違うように被害を受けている。

→実際の現場はメディアをとおしてみたものとは違っていた。まだ何も手つかずの建物やガレキが残っていて、想像していた状況とは違ってとても驚いた。

→大船渡にいてみると臭いが結構することがわかった。

→4月ごろから比べると状況はかなり変わっている。そのことを見ると復興にむかって進んでいるのはわかる。

→瓦礫というのは元々個々の所有物であって、ごみでないことを認識しないといけない。

明日の予定

学童保育、総合運動公園でベンチ作り、雨天の場合はチラシ作り。

7.29 大船渡ボランティア報告

1. 1日の流れ

5:30 食事班起床

6:00～ 朝食準備

7:00～ 朝食

7:30～ 片付け・出発準備

8:15 出発

① グループ（総合運動公園でベンチ作り）

9:30～12:00 ベンチ作り

12:00～1:00 昼食

1:15～3:30 ポスター・チラシ作り（雨によりベンチ作りは中止）

② グループ（学童保育での活動）

1・2年生 10:30～12:00 プール

～12:30 お昼

～1:30 ゴロゴロタイム

1:30～1:45 動物探しゲーム

1:45～3:30 ビデオなどおのおの

3・4年生 ～10:00 勉強

～12:00 パラパラマーケット準備・好きな遊び

～12:30 お昼

～1:30 ゴロゴロタイム

1:30～ パラパラマーケット準備・好きな遊び

全グループ

4:45～5:15 買い物

5:30～ 夕食準備

7:00～ 夕食

8:15～9:30 ミーティング

9:40～10:00 スタッフミーティング

今日の活動

午前中は総合運動公園でベンチ作り

→4つの班に分かれて4つ作成、1つが途中

→置いたベンチに座っていた人がいたとのこと

→地元の人は数人ほどベンチ作りを見に来た

→車を停める時にステッカーが見えるようにして宣伝する

→テントを置く場所の位置も変えて周りからみえるようにする

- なんでベンチ作りの時に住民を巻き込むのか？

→自分たちが中継点となって住民と住民のつながりを生み出すため。そのためのきっかけ作り

- お祭りが住民にとってどのようなお祭りになるのが重要

→単発で東京などから数日だけ来てお祭りをしてもそれは単なるイベントで終わってしまう。

→被災地の住民のためには、もっとイベント日の前から住民を巻き込んで一緒にやってお祭りが大事。

午後は雨天のため YS センターでチラシ、ポスター、巨大絵の下書き

→お祭りとベンチ作りを知らせるチラシ、ポスター作り

→ポスターやチラシを受け取る側からの視点でみたものが必要

→行きたいなって思えるようなこと、必要事項を簡潔に書いてること

学童保育

昼食までプール遊び

小学校のプールで行った。他の小学生や先生などもいた

数人はプール遊びをせずに残っていた

午後は動物探しゲームをした

帰宅までドッジボールなどの遊びをして終えた。

1～2年生、20人程

3～4年生、13人程

3～4年生はパラパラマーケットの準備をした。

児童たちの交流に注意を払って活動をした。その結果、女の子が自主的に男の子に声をかけて一緒に活動をするようにするなどしていた。

- 8月1～5、8～11、18、19日に中学3年生を対象に学術指導を行う予定。

→自主的な参加

→教科は決まっていない

→朝は9時から夕方4時まで

- 地ノ森の5日お祭りはキャンセルして13日に移行

→集中的な活動を地ノ森から総合運動公園へ移行していく。

6,7日は盛町で大きな七夕祭りがある。

- 7日は末崎町でお祭りをしようと計画中

明日の予定

総合運動公園でベンチ作り、学童保育

7.30 大船渡ボランティア報告

1. 1日の流れ

- 5 : 3 0 食事班起床
- 6 : 0 0 朝食作り開始
- 7 : 0 0 朝食
- 8 : 1 5 大船渡へ出発
- 9 : 3 0 YSセンターにてチラシ・ポスター作り
- 11 : 3 0 昼食
- 12 : 3 0 長洞仮設住宅到着、ベンチ作り開始
- 13 : 3 0 社協にてコピーしたチラシを各家に配布開始
- 16 : 0 0 遠野へ出発、途中買い物
- 17 : 4 0 帰宅、食事準備開始
- 19 : 0 0 夕食
- 20 : 1 5 ミーティング
- 20 : 0 0 スタッフミーティング

2. 1日の活動

ベンチ作り、ポスター班

午前中はYSセンターにてチラシ、ポスター作り。

総合運動公園と地ノ森でのお祭りポスターが完成。

ベンチ作りのためのチラシも完成し、午後に配布した。

午後は総合運動公園でのチラシ配布

2割程まだ住んでいないところがあった。

地域ごとに棟が分かれていても顔見知りじゃない人は多い。

焼き肉をするときにベンチを使っていいのか尋ねられた。

たばこを吸うときに使いたいという要望があった。

お魚屋さんなどの車がくる近くにベンチを置いたら効果がありそう。

ただチラシをポスティングするだけより、自分たち学生がそれぞれの家に訪ねてお知らせを配ることは意味がある。

ベンチを作る時に役割分担をすることで作業効率がかなり上がった。

学童保育組

● キッズクラブ猪川

土曜日だったので人数がすくなく7人程度だった。

子どもたちに自主性がある。

パラパラマーケットをしたり、ブロック、ビデオを見て遊んだ。

指導員の人と多く話す機会を持てた。

親を亡くしたり、家を失っている子どもがいる。

実際に外で遊ぶ機会がすくないように見えた。

● にこにこ浜っ子（赤崎）

計 16 人

そのうち 3 人が学習障害。

子どもたちは言われたら何かをする傾向にある。

指導員はほとんど子どもに干渉していかない。

全員同じフロアで活動している。

勉強をしている時間が多かった。

勉強の手助けをする必要があるように見えた。

動物シール探しゲーム。

● 学術指導をどうやるべきか？

→最初から答えを教えてしまうと子どもたちの自主性、考える力がついていかない。

→答えに近いヒントを与えていくといいのではないかな。

→答えを分かっている子どもが分からない子どもに教えるようにすると良さそう。

→楽しいだけが学童での活動ではない。

→ある程度の基準が必要。

→分からない時にどうしたら答えを導いていけるかを子どもが理解することが重要。

→目の前の宿題を終わらせてあげることが自分たちの目的ではない。

● 折り紙プロジェクト

仮設住宅の人たちに子どもが折り紙を作って、プレゼントする。

8月4日の午後に折り紙のエキスパートの方に来て頂く。

● 8月の夏祭り予定が確定

6日総合運動公園

7日末崎のふれあいセンター：七夕祭り

13日地ノ森仮設住宅

14日越喜来の山村広場

ベンチ作りは総合運動公園と末崎を中心に入っていく。

明日の予定

礼拝、総合運動公園でベンチ作り

7.31 大船渡ボランティア報告

1. 今日の流れ

7 ; 30 食事班起床
8 ; 00 朝食
9 ; 15 大船渡教会へ出発
10 ; 30 礼拝
11 ; 30 お話タイム
12 ; 30 昼食
13 ; 00 長洞仮設住宅へ出発
13 ; 30 作業開始
16 ; 00 作業終了
17 ; 30 帰宅
19 ; 30 夕食
20 ; 30 ミーティング
22 ; 00 スタッフミーティング

2. 今日の活動

- 午前中に大船渡教会での礼拝に参加した
- 午後に総合運動公園でベンチ作り

先週の土曜での越喜来と同じくらいの人に来てくれた

人と接するときに名前を覚えることがすごく大事

ベンチを作っている最中に住民同士の交流が多くみられた

住民同士の交流が始まったら自分たちは1歩後ろへ引くことも大事

作業をしながら住民の意見を取り入れていくことも重要

盆踊りがなくなったから自分たちのお祭りを楽しみにしている

今日の住民が参加しているベンチ作りを体験してベンチ作りの大事さが分かった

住民たちが自らこういった交流の機会の場を作れるようになるのが疑問

釘は内側にむけて打っていくと強度があがる

- ベンチ作りの引き継ぎをうまくやる方法が必要

→ベンチ作りのノートを作る

住民のつながりから夏祭りに大船渡の民謡会の方達が参加してくれる可能性がある

引き継ぎのためにもっと情報共有をするべき

→1週間組ももっと引き継ぎのために活動する

震災のことや昔のことを話したがっている人が多いので、話を引き出してあげることも大切

自治会に興味を持っている人がいる

復興は先が見えないけれども、ベンチを通して自分がやりたいことを考えていくことが、これからの未来を明るくする。それが被災者の活力や元気につながる

今日は「被災者とボランティア」ではなく対等な関係でいられた。材料やきっかけを与える側と、長年の技術や経験を与える側がぴったりとひとつになり行動できた

8.01 大船渡ボランティア報告

1. 1日の流れ

5:30 食事班起床
6:00 食事準備開始
7:00 朝食
8:07 写真撮影
8:20 出発
9:40 作業開始
12:00 昼食
12:40 出発
1:10 末崎にて作業開始
3:40 作業終了
5:15 買い物
5:40 帰宅・食事準備開始
7:00 夕食
8:30 ミーティング
10:30 スタッフミーティング

2. 1日の活動

ベンチ組（10人）

ベンチ作り・ポスター作り・チラシ配り

午前中は総合運動公園

私物化（物干しざおの下に設置されていた）されたベンチをみつけた

● 誰も使っていないから私物化する？

→実際にはベンチを使っている人がいた

→ベンチを貰ったものだと思っている

→私物化にも度合いがある

→私物化を許すと歯止めがきかなくなっていく

→わざとベンチの数を少なくし、大き目のベンチを配置する

● ベンチに We are with you という ChildFund Japan と青学のロゴが入ったプレート を貼る予定

→自分達がベンチを置いている目的をもっとはっきり説明できるようになるべき

→夏祭りでベンチ作りの目的を説明する

→掲示板にベンチ作りの目的を貼ったり、チラシを配る

→ベンチに注意書きを貼る

→ベンチを設置しようとしてる時に多くの方がありがたうなど話しかけてくれるよう

になった

→ベンチ作りに来る人は限られている

午後は末崎

学童組（猪川2人、にこにこ浜っこ（赤崎）3人）

動物シール探しゲーム

外遊び

→駐車場に絵をチョークで描く

巨大絵

→切ってある紙をどんどん貼っていくと最後に大きな絵になる

男の人が先生に加わるともっと活動の幅が広がるのではないかな

野球教室（2人）

物資の整理、配布、学生の誘導など

明日の予定

学童保育4人、ベンチ作り8人、野球教室2人、夏祭り準備1人

8.02 大船渡ボランティア報告

1. 1日の流れ

5:30 食事班起床
6:00 朝食準備開始
7:00 朝食
8:15 出発
9:30 末崎にてベンチ作り開始
10:30 チラシ配り
12:15 昼食
1:00 作業再開（途中インタビューも）
3:00 作業終了・出発
5:30 夕食準備開始
7:00 夕食
8:30 ミーティング
10:30 スタッフミーティング

学童：浜ッコ…10:00 動物探しゲーム

11:30 チョーク遊び
12:00 お昼
12:30～1:30 休憩
1:30 貼り絵
2:00 遊び
3:00 おやつ

野球：7:30 準備開始

午前 篠塚さん＋2校
午後 篠塚さん＋4校の交流会
5:00 片付け終了・帰宅

2. 1日の活動

学童

にこにこ浜っ子（3人）

動物シール探しゲーム

チョークで駐車場に絵を描く

→駐車場いっぱい絵を描いた。好評。

巨大絵

計23人

きっずくらぶ猪川（2人）

パラパラマーケット

ビデオ鑑賞

野球教室

テント貼り、弁当、参加賞の準備

篠塚さんとの交流会、練習

ベンチ作り班

末崎にてチラシ配り

たくさんの人が来て、差し入れなどもくれた

ベンチ6個作成

チャイルド・ファンド・ジャパンの映像制作のために学生がインタビューを受けた

盆踊りをしたいという要望

東海新報にベンチ作りをしていた記事が書かれていた

総合運動公園でのミーティング

船戸さん、小林さん、伊藤先生、初等部の先生方4名、学生2名

学習支援がボランティアのプログラムに入っていないことの調整

自分達のベンチ作りのコンセプトと青学初等部側のコンセプトの違い

お祭りでのコーディネーターは誰か

これからのベンチ作りの日程決め

ベンチ作りの活動が東海新報に掲載された

8.03 大船渡ボランティア報告

1. 1日の流れ

7:00 朝食

8:00～11:00 清掃、荷造り

11:40 昼食

12:50 新グループ遠野駅着

13:00～15:00 引継ぎ作業

16:30 夕食準備開始

19:00 夕食

20:30～21:30 ミーティング

21:40～22:10 見送り

22:30 スタッフミーティング

2. 活動内容

ミーティング（自己紹介、抱負）

3. 意見・感想

自分のためか被災地の人のためかという意見に分かれた。

自分のためにという意見の人は被災地の現状を見て伝えていきたい。

被災地の現状を伝えた結果、その先どうなるのかをこの一週間で考えていく。

今の自分が考えていることを胸にとどめておく。